

各 位

平成 14年 10月 11日

会 社 名 福井コンピュータ株式会社
 コーﾄ番号 9790
 問合せ先 取締役管理本部長
 落野 勝
 TEL (0776) 53 - 9200

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14年 5月 15日の決算発表時に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正します。

記

1. 15年 3月期中間業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 5月 15日 発表)	2,821	101	101
今回修正予想(B)	2,502	234	188
増減額(B - A)	319	133	87
増減率	11.3	-	-
前期 (平成14年 3月中間期)実績	2,910	267	186

2. 15年 3月期通期業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 15年 3月 31日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 5月 15日 発表)	6,032	200	31
今回修正予想(B)	5,500	12	89
増減額(B - A)	532	188	120
増減率	8.8	94.0	-
前期 (平成13年 3月期)実績	5,872	365	305

3.業績予想修正の理由

(1) 当中間期は、公共工事の削減や、景気停滞・雇用不安下における住宅着工件数の減少などを背景に、建設業界は総じて低迷し、企業の設備投資も回復の兆しを見せないまま推移しました。こうした環境に対応すべく、当社は日本ユニシスとの包括的業務提携をはじめ、アライアンス戦略を強力に推し進め、顧客の囲い込みに努めましたが、これらの具体的な成果は将来においては期待できるものの、本中間期における売上高への貢献は軽微なものにとどまりました。

当社の売上が伸び悩む中、社内においては全社員が危機意識を共有し、費用の削減に努めてまいりましたが、利益を確保するには至りませんでした。

この結果、期首において、中間期は、売上高 28億 2千 1百万円、経常損失 1億 1百万円、当期損失 1億 1百万円を計画いたしておりましたが、売上高、経常利益、当期利益の各々で計画を下回り、売上高 25億 2百万円、経常損失 2億 3千 4百万円、当期損失 1億 8千 8百万円を見込んでおります。

(2) 下半期も、建設業界の環境が急激に上向くことは考えにくく、当社にとって厳しい経営環境が続くことが予想されます。当社は社内の構造改革を断行し、特に建築ソフトの売上改善を目的とした人員配置の見直しを行い、営業社員の比率を高めてまいります。また、12月に発売を予定している建築CADソフトウェアの新規バージョン（ARCHITREND21 Ver.7.0）や官公庁専用電子納品管理システム「TREND CAD SXF（仮称）」の積極的な販売に力を注いでまいります。併せて、引き続き費用削減に努めます。

以上のことから、売上高は 29億 9千 8百万円、経常利益は 2億 4千 6百万円を見込んでおります。

(3) したがいまして、平成15年 3月期通期（平成14年 4月 1日～平成15年 3月31日）といたしましては、売上高 55億円、経常利益 1千 2百万円、当期損失 8千 9百万円を予想しております。

4.配当予想の修正

期末配当につきましては、期首に 1株当たり10円を予想しておりましたが、当期の業績予想を鑑み、誠に遺憾ではありますが期末配当を取りやめさせて頂き、平成15年 3月期年間配当を無配とさせて頂く予定であります。

(単位：円)

	中 間 期	期 末	年 間
前回発表予想 (平成 14年 5月 15日 発表)	0.00	10.00	10.00
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
前期 (平成14年 3月期)実績	0.00	5.00	5.00

以上